

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-163324(P2008-163324A)

【公開日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-316705(P2007-316705)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

C 08 L 77/00 (2006.01)

C 08 L 81/02 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 3/00

C 08 L 67/00

C 08 L 77/00

C 08 L 81/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月31日(2010.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)と(b)の合計を100重量%として、(a)熱可塑性樹脂10~90重量%および(b)無機フィラー90~10重量%を配合してなる樹脂組成物であって、(b)無機フィラーの累積粒度分布曲線より得られる累積度95%粒度(D95)と累積度5%粒度(D5)の比(D95/D5)が30以上である樹脂組成物。

【請求項2】

(b)無機フィラーの平均粒子径(D50)が0.5~80μmであることを特徴とする請求項1記載の樹脂組成物。

【請求項3】

(b)無機フィラーが非纖維状フィラーと纖維状フィラーを併用し、かつ非纖維状フィラーの配合量が、纖維状フィラーの配合量より多いことを特徴とする請求項1または2記載の樹脂組成物。

【請求項4】

(b)無機フィラーとして平均粒子径(D50)が3倍以上異なる少なくとも2種類の無機フィラーを配合することを特徴とする請求項1~3のいずれか記載の樹脂組成物。

【請求項5】

(b)無機フィラーが(b1)平均粒子径(D50)が0.5~7μmの無機フィラーと(b2)平均粒子径(D50)が7~80μmの無機フィラーを配合することを特徴とする請求項4記載の樹脂組成物。

【請求項6】

配合量の多い2種の(b)無機フィラーの配合量を比較した際に、平均粒子径(D50)

の小さい無機フィラーの配合量が、平均粒子径（D50）の大きい無機フィラーの配合量より多いことを特徴とする請求項4または5記載の樹脂組成物。

【請求項7】

配合量の多い2種の（b）無機フィラーの配合量を比較した際に、平均粒子径（D50）の小さい無機フィラーの配合量が、平均粒子径（D50）の大きい無機フィラーの配合量より少ないと特徴とする請求項4または5記載の樹脂組成物。

【請求項8】

（a）熱可塑性樹脂がポリアリーレンスルフィド樹脂、液晶ポリマー、ポリアミド樹脂および非液晶性ポリエステル樹脂から選ばれた少なくとも1種である請求項1～7のいずれか記載の樹脂組成物。

【請求項9】

さらに（d）オレフィン系樹脂を（a）および（b）の合計量100重量部に対して1～20重量部添加してなる請求項1～8のいずれか記載の樹脂組成物。

【請求項10】

（d）オレフィン系樹脂が、（d-1）オレフィン系（共）重合体にエポキシ基を有する单量体成分を導入して得られるオレフィン共重合体、および、（d-2）エチレンと炭素数3～20の-オレフィンとを共重合して得られるエチレン・-オレフィン系共重合体の2種の共重合体を主要成分として含有するオレフィン系樹脂であることを特徴とする請求項9記載の樹脂組成物。

【請求項11】

さらに（c）脂肪酸金属塩、エステル系化合物、アミド基含有化合物、エポキシ系化合物、およびリン酸エステルから選ばれる少なくとも1種の化合物を（a）および（b）の合計量100重量部に対して0.1～10重量部添加してなる請求項1～10のいずれか記載の樹脂組成物。

【請求項12】

請求項1～11のいずれか記載の樹脂組成物を射出成形してなる成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち本発明は、

（1）（a）と（b）の合計を100重量%として、（a）熱可塑性樹脂10～90重量%および（b）無機フィラー90～10重量%を配合してなる樹脂組成物であって、（b）無機フィラーの累積粒度分布曲線より得られる累積度95%粒度（D95）と累積度5%粒度（D5）の比（D95/D5）が30以上である樹脂組成物、

（2）（b）無機フィラーの平均粒子径（D50）が0.5～80μmであることを特徴とする上記（1）記載の樹脂組成物、

（3）（b）無機フィラーが非纖維状フィラーと纖維状フィラーを併用し、かつ非纖維状フィラーの配合量が、纖維状フィラーの配合量より多いことを特徴とする上記（1）または（2）記載の樹脂組成物、

（4）（b）無機フィラーとして平均粒子径（D50）が3倍以上異なる少なくとも2種類の無機フィラーを配合することを特徴とする（1）～（3）のいずれか記載の樹脂組成物、

（5）（b）無機フィラーが（b1）平均粒子径（D50）が0.5～7μmの無機フィラーと（b2）平均粒子径（D50）が7～80μmの無機フィラーを配合することを特徴とする（4）記載の樹脂組成物、

（6）配合量の多い2種の（b）無機フィラーの配合量を比較した際に、平均粒子径（D50）の小さい無機フィラーの配合量が、平均粒子径（D50）の大きい無機フィラーの

配合量より多いことを特徴とする(4)または(5)記載の樹脂組成物、

(7)配合量の多い2種の(b)無機フィラーの配合量を比較した際に、平均粒子径(D50)の小さい無機フィラーの配合量が、平均粒子径(D50)の大きい無機フィラーの配合量より少ないことを特徴とする(4)または(5)記載の樹脂組成物、

(8)(a)熱可塑性樹脂がポリアリーレンスルフィド樹脂、液晶ポリマー、ポリアミド樹脂および非液晶性ポリエステル樹脂から選ばれた少なくとも1種である上記(1)~(7)のいずれか記載の樹脂組成物、

(9)さらに(d)オレフィン系樹脂を(a)および(b)の合計量100重量部に対して1~20重量部添加してなる(1)~(8)のいずれか記載の樹脂組成物、

(10)(d)オレフィン系樹脂が、(d-1)オレフィン系(共)重合体にエポキシ基を有する単量体成分を導入して得られるオレフィン共重合体、および、(d-2)エチレンと炭素数3~20の-オレフィンとを共重合して得られるエチレン-オレフィン系共重合体の2種の共重合体を主要成分として含有するオレフィン系樹脂であることを特徴とする(9)記載の樹脂組成物、

(11)さらに(c)脂肪酸金属塩、エステル系化合物、アミド基含有化合物、エポキシ系化合物、およびリン酸エステルから選ばれる少なくとも1種の化合物を(a)および(b)の合計量100重量部に対して0.1~10重量部添加してなる上記(1)~(10)のいずれか記載の樹脂組成物、

(12)上記(1)~(11)のいずれか記載の樹脂組成物を射出成形してなる成形品である。